



2015～2016年度
 国際ロータリーのテーマ
 Be a gift to the world
 世界へのプレゼントはなるう

2015～2016年度
 名古屋瑞穂ロータリー会長のテーマ
 輝いで!!行動しよう!!
 ~Go Go Go~

Weekly Report

第1727回例会

～職業奉仕月間～
 クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2016年1月21日(木) 晴れ 第26回 職場例会 於：ヤマザキマザック美術館

司会：山本英雄会場委員

会長挨拶

伊藤豪会長

皆様こんにちは。今月は職業奉仕月間です。それになみまして、職場例会をヤマザキマザック美術館で開催いたしました。職業奉仕委員会の皆様、お手配ありがとうございました。



「ヤマザキマザック」といえば、「世界のモノづくり」の基礎を支える工作機械メーカーです。「工作機械」は、金属やプラスチックなどの材料を加工して部品や金型を作り上げる機械で、身の回りのあらゆる製品の製造に関わることから、「マザーマシン」と呼ばれています。携帯電話、自動車、飛行機、船、人工衛星など、また人口骨や関節など医療分野でも様々な製品を加工するのに高性能な工作機械が使われています。いわば私たちの生活の根幹となる重要な産業です。工作機械メーカーとしてのヤマザキマザックは、これからも最先端の製造技術を、世界中の製造業に携わる方々に提供していくと思われま

特に「ものづくり愛知」に取りまはしては、愛知の製造業をリードしていく先端企業だと思っています。

美術館につきましては、職業奉仕委員長の松波さん、よろしく願い致します。

ニコボックス

渡辺喜代彦ニコボックス委員

・職業奉仕委員長の松波です。今日は芸術を楽しんでください。

松波 恒彦さん

・職業奉仕委員会の皆様、お手配ありがとうございました。

伊藤 豪さん

・本日は立派な職場例会を開いて頂き、誠にありがとうございます。担当者各位に感謝致します。

野崎 洋二さん

・職業奉仕委員長、セッティングありがとうございます。鈴木 淑久さん

・来週のゴルフダイジェストに出ます。堀 慎治さん

・職業奉仕委員会の皆様、ご苦労様です。芸術を楽しみます。

長谷川 隆さん 長瀬憲八郎さん 佐藤 善乙さん

梅村 昌孝さん 岩田 修司さん 内田 久利さん

宗宮 信賢さん

出席報告

渡辺喜代彦出席委員

会員66名 出席48名 (出席計算人数46名)

出席率 84.2% 1月14日は補填により 91.5%

幹事報告

梅村昌孝幹事

- ・1月27日(水) 18:00から、4RC合同例会をマリオットアソシアホテル16階「タワーズボールルーム」にて行います。
- ・1月28日(木)は振替により例会変更となります。

職場例会

挨拶：松波恒彦職業奉仕委員長

皆さんこんにちは。本日は職場例会にご参加いただきありがとうございます。本日はヤマザキマザック美術館で、芸術を楽しんで頂くということで計画いたしました。お食事の後、美術館をご案内して頂きます。また、ヤマザキマザック美術館より、会員の皆さんに作品集のプレゼントもご用意して頂きました。お帰りの際にお持ちください。



乾杯挨拶：岩田修司直前会長

本日は職場例会でございます。食事の後、ヤマザキマザック美術館の中を見るということで、松波職業奉仕委員長、本当にご苦労様でした。

残念ながら、ヤマザキマザック美術館の会長は亡くなれましたが、お元気な頃はお茶会にお誘い頂いたり、個人的にお食事にお誘いしたりしていました。個人的に付き合っていく中で、本当に人格者だと感じており、惜しい人を亡くしたと今でも思っております。

美術館が開館する前のプレオープンに、ヤマザキマザック美術館会長からご案内頂いて、美術館を見させていただきましたが、誠に素晴らしい絵がたくさん飾ってあります。皆さん楽しみにしていただければと思います。本日ご協力頂きました感謝の意を表して、乾杯の挨拶とさせていただきます。



ご挨拶:ヤマザキマザック美術館山崎照子館長

名古屋瑞穂RCの皆様、本日はお越しくださいましてありがとうございます。松波職業奉仕委員長からお話をいただきまして、当美術館を例会の会場に選んで頂いたことを大変光栄に思います。皆様にお目にかかれることを大変楽しみにしておりました。少しお時間を拝借いたしまして、当館のことをお話させていただきます。



当館は名前にもありますように工作機械メーカーのヤマザキマザックを母体といたしまして、2010年の春に開館いたしました。

ヤマザキマザックは、工作機械メーカーとして、いち早く海外に進出いたしました。日本以外にも、米国・英国・シンガポール・中国等多数の生産拠点を設け、グローバルな体制を確立し、世界中のお客様と深い信頼関係を築いて参りました。

そのヤマザキマザックの会長を務めた私の父・山崎照幸は1960年代の若い頃から自社の製品を世界中に広げるために、年間100日以上を欧米諸国の出張にあてておりました。今でこそ売上の8割以上は海外でございますが、当時は何の販路もなく、慣れない土地での開拓や商談に明け暮れて苦労したようでございました。そんな中、欧米諸国は週末になりますと相手方とのビジネスがなく、何もすることがなかったこともあり、その時間を使っての美術館や画廊廻りが一番の楽しみになっていったようでございます。そうした切っ掛けで収集が始まりましたので、当館の収蔵作品は全て会長自身が自分の目と足を使い、慈しんで、40年以上の歳月をかけて集めたものばかりで構成されております。

当館の展示フロアは4階・5階となっております。5階は西洋絵画のフロアです。5階に入るとすぐは、18世紀のロココ時代の作品が展示されております。ロココはマリーアントワネットやポンパドール夫人といった女性たちが活躍した大変雅やかな宮廷文化の時代です。ロココの時代から20世紀のピカソまで、5階を一回りしていただきますと、フランス絵画の300年間の歴史を一望できる設えになっております。ただし、今の時期もそうでございますが、企画展を5階の最後の部屋で開催している時期があります。企画展の期間中は、ピカソなどを収容庫に入れてありますのでご覧頂くことはできませんが、こういった名画などを他の美術館にお借りして大変豊かな企画展を開いております。

4階は工芸のフロアで、19世紀末のフランスで花開きましたアールヌーボーと呼ばれる芸術様式の、ガラスや家具を展示しております。後ほど皆様には当館の学芸員がご案内いたしまして、作品についてご説明させていただきます。

私たちは美術館を作る際、会長が集めた作品が一番似合う空間にしたいという思いを持っていました。また、ご来場いただくお客様がくつろいで心地よく絵画を鑑賞していただける空間作りをしようというコンセプトで美術館を作りました。例えば、絵画からアクリル板やガラス板を外しています。これは大変リスクのあることでございますので、他の美術館では大変稀な展示方法かと思えます。ガラスを外すことに

よって、ガラスへの写り込みや照明が反射することがなく、当時の画家の筆使いをダイレクトに感じていただくことができます。

設えはその時代の作品に合った伝統ある壁紙をヨーロッパから取り寄せ、シャンデリアもヴェルサイユ宮殿にかかっているマリアテレジアというモデルを使っております。展示物と皆様との間にあるロープが設置してあるスタンドは、弊社の工作機械加工をしていますので、スタンドの架台部分に「MAZAK」とさりげなく刻んであるのをご覧いただけます。空調機器は床下に配しまして、目立たないように施設に合った風を吹き出しております。

床下が空洞ですので、定時に演奏するオルゴールや、ミニコンサートも大変良い音響効果でお楽しみいただけます。日頃お忙しい皆様にくつろいで良い時間を過ごされますことを願っております。



例会のご案内

- 今週の行事 1月27日(水) 4RC合同例会
場 所：名古屋マリオットアソシアホテル
時 間：18:00~20:00
- 1月28日(木)は振替により例会変更
- 次週の予定 2月4日(木) 第4回クラブフォーラム
内 容：中間決算と組織